

月刊[里親だより]第37号

2011年7月22日(金)発行(財)全国里親会

☎ 03-3404-2024 FAX 03-3404-2034

(HPやメーリングにアップしております。)

<http://www.zensato.or.jp/> E-mail: info@zensato.or.jp

メーリンググループ zenkokusatooyakai@yahoogroups.jp

焼けつくような日差しの中で気温は何度になっているのかわかりませんが、連日の猛暑で、放射能の心配もあり、子どもたちを外で遊ばせることも大変です。

■ 震災孤児が219人に

～第2次 被災児童の養育支援を検討～

厚生労働省の調べでは、震災孤児は、岩手県89人、宮城県98人、福島県15人、仙台7人、県外10人合計219人になっています。

また、福島県里親会からは、25里親家庭のうち、原発のため家に戻れない里親は14家庭(子ども20人)おり、仮設住宅や知人宅にいるとの報告がありました。

全国里親会では、「大震災子ども救済基金」から両親を亡くされた子どもたちを養育している方への支援のため、子ども1人当たり7万円の一時金を支給しておりますが、第二次養育支援について検討しております。2回目は、被災児童の住所等は分かっているので、直接通知することができますが、周知にご協力願います。また、災害を受けた里親家庭に対する支援も急がなければなりません。被災状況が分かりませんので、福島県の11里親家庭の支援を検討することといたします。

■ 親族里親等の要件の見直しを検討

3親等以内の親族による里親は親族里親になりますが、民法の扶養義務の関係から、子どもの養育費は支給されますが、里親手当は支給されていません。

民法上の扶養義務については、直系血族の祖父母や兄弟姉妹と異なり、おじ、おばには、特別な事情があって、家裁が審判により扶養義務者とする場合を除き、扶養義務がありません。したがって、扶養義務者でないおじ、おばについては、親族里親でなく通常の養育里親として、里親研修の受講を要件に里親手当を支給するものです。

厚生労働省では、児童福祉法施行規則(厚生労働省令)の「親族里親の定義」を改正して、扶養義務者でないおじ、おばについては、親族里親ではなく養育里親とすることとし、現在、規則の改正について、パブリックコメントを公募中(8月11日まで)で、9月には省令を改正する予定です。

なお、養育里親には、「経済的に困窮していないこと」が要件になっていますが、親族に「養育里親」を適用する場合には、この要件は、親族里親と同様に適用しない考えで、また、養育里親の要件の一つとして、「子どもへの理解、熱意、豊かな愛情を有すること」要件として省令に加えることにしていますが、里親の虐待などが問題になっていることなどから、若干の危惧もあります。皆さんのお考えを聞かせて下さい。

詳しくは、厚生労働省のHPをご覧ください。

<http://www.mhlw.go.jp>の「パブリックコメント」から、資料を入手して下さい。

■ キャセイパシフィック航空が被災児童のために空港見学ツアーを実施、参加者20人を募集

キャセイパシフィック航空では、災害を受けた子どもたちのために、小学校高学年から中学生を対象に、成田国際空港の見学ツアーを企画し、東北7県の里親会に募集をしております。

日程は、「第1日目」8月9日(火)10時30分仙台駅に集合、バスでガーデンホテル成田(泊)へ、途中レストランで夕食。「第2日目」10日(水)は、空港内の荷物の搭載や整備作業、機内食工場などを見学、夕食は弁当をバスの中で摂り、21時30分ごろ仙台駅に到着、解散。集合、解散場所の仙台駅までの交通費は自己負担です。子どもたちの夏休みの思い出に是非ご検討下さい。

■ IFCO世界大会にツアー参加

カナダのヴィクトリアで7月11日から15日まで「希望を育もう」をテーマに開催された第16回世界大会は、全国里親会のツアー参加25人(うちユース7人、子ども1人)の他、ナデシコバッジだけでなく、研究者や学生など個人参加が25人、日本から50人が参加しました。東京の竹中さんから、毎日写真入りの報告書がメールで送られて行きましたので、ご覧頂いていると思いますが、詳しくは、次回の「里親だより」で報告される予定です。

■ 「8・7東京フォーラム～東京に避難してきた子どもたちを支える～」を開催します

震災で、多くの子どもたちが被災県から全国各地に避難していますが、その実態は、行政でも十分な把握はなく、また、支援も満足に行われてはおりません。

このフォーラムでは、「第一部」で東京に避難してきている子どもたち(その家族や養育者)からその実情と支援に当たってきた方たちの声を聴き、これからの対応をみんなで考えようというものです。「第二部」では、子どもの心のケアについて、御協力をいただいている日本臨床心理士会から村瀬嘉代子会長の講演を予定しています。

会場は、日本財団大会議室(定員150名)で13時から、保育が必要な場合は事前にお申し出ください。なお、被災県の各地においても、「こころのケアへの対応」や必要に応じて行う個別相談の実施についても予定しており、この集會を足がかりにしたいと思っています。

(IFCO世界大会の報告もあります。)

■ 「社会的養護の課題と将来像」(確定版)

社会的養護の現状(参考資料)

課題と将来像(・概要・要点・取りまとめ)

<http://www.mhlw.go.jp/stf/shingi/2r9852000001j8zz.html>

■ 平成23年度里親促進事業の実施予定(交付予定額)

・里子交流事業	47都道府県市	4,429千円
・ふれあいキャンプ事業	8県・市	982千円
・里親会モデル事業	8県・市	1,410千円